

ふれあいひろば



[患者とともにある全人的医療]



院長就任あいさつ

平成25年4月1日付けで、院長に就任いたしました。専門は消化器外科で胃癌・食道癌の腹腔鏡・胸腔鏡手術を中心に行っていました。平成12年に緩和ケアチームを立ち上げ、現在もチームの回診に参加しております。院長就任にあたり、ごあいさつ申し上げます。

新潟市民病院
院長 片柳憲雄

新潟市民病院は鐘木に新築移転して5年、病院創立から40周年という節目の年を迎えました。電子カルテの更新も終え病院機能はかなり充実し、地域医療圏での役割を十分果たせるようになってまいりました。救命救急・循環器病・脳卒中センターを持つ当院は重症・救急医療を担っております。総合周産期母子医療センターでは24時間の周産期救急の対応はもちろん、母乳育児を推進し、国際基準である「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を目指しております。

地域がん診療連携拠点病院として、今年度、手術支援ロボット（ダヴィンチ）を導入いたします。患者さんのおなかを大きく切らない手術による、安全で質の高いがん治療を提供できるようになります。また、がん患者さん、そのご家族の協力を得ながらの「がん患者サロン」、乳がん患者さんによる「ひだまりサロン」、隔月の「五大がん市民公開講座」と「がん患者会」も好評で開催を継続しております。

毎年病院で行っている「病院顧客満足度調査」において外来では89%、入院でも95%の患者さんから‘満足’と、われわれ職員にとりまして大変うれしい評価を頂いております。職員にも働きやすい職場環境にすべく病院も努力しております。

7：1看護体制の維持、5年目での電子カルテシステムの更新（電子カルテ端末1,100台）、新患外来の患者さん紹介システム、医療秘書・看護補助職員の採用などです。自分たちのモチベーションを上げながら、温もりのある医療を患者さんにお返しできればと考えております。

ただ今、精神科病棟、病児保育施設などをそろえた新病棟を建設中であります。10月末の完成予定ですので、それまで病院をご利用の皆様にはご迷惑をおかけいたします。

私たち病院職員は、これまで同様、病院の理念『患者とともにある全人的医療』をもとに患者さん参加型の“あたたかい医療”を実践することで安心安全な医療につなげられると考えております。重症・専門・救急を中心に質の高い医療を提供しながら、患者さんに信頼される病院を目指しております。

これからも市民病院を上手にご利用ください。よろしく願いいたします。



「2012年度患者満足度調査の結果について」

事務局経営企画課

当院では患者さんに信頼されるぬくもりのある医療を目指し日々の診療業務に取り組んでいます。このたび当院の医療サービスに対する患者満足度調査を実施し、入院調査785名、外来調査1,262名の皆さまから回答をいただきましたので調査結果についてご報告いたします。

【病院満足度ポイント】

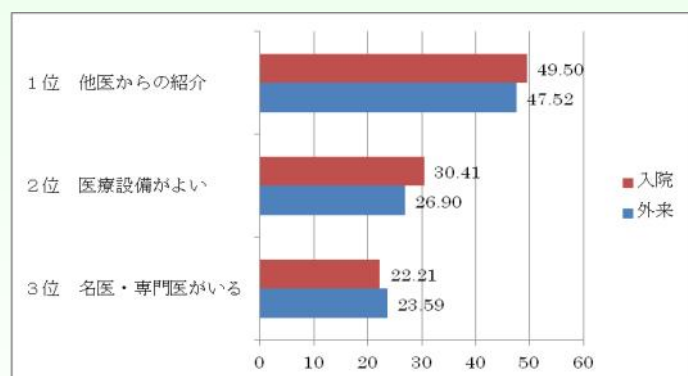
「全体としてこの病院に満足している」との設問に対し、「まったくそうだ（満足）」「ややそうだ（やや満足）」という肯定的な回答の割合は次のとおりです。

入院調査：95.03% （H23年度 94.87%）
 外来調査：88.67% （H23年度 90.18%）

外来では前回は下回る結果となりましたが、多くの患者さんから高い評価をいただきました。全国と同規模病院と比較しても高い水準であり、職員一同この結果を励みにしたいと考えています。

【患者さんが当院を選択した理由：上位3位】

入院・外来ともに「他医からの紹介」が最も多く、次いで「医療設備がよい」「名医・専門医がいる」の順となりました。



当院はかかりつけ医から紹介された患者さんを優先的に診療する地域医療支援病院であることから、当院の地域における役割を十分にご理解いただいた結果であると考えております。

【患者さんの自由記述から】

当院の医療サービスの改善すべき点、良い点などについて具体的なご意見をいただきました。

良い点、特に改善された点では「職員が皆さん明るく親切」「医師、看護師その他医療スタッフ間の連携がある」「病室・廊下が広く、院内全体が明るく清潔感がある」「設備が充実している。専門医がいるので信頼している」などの職員の接遇、院内施設や診療体制について評価を頂きました。

改善すべき点では「診療、会計までの待ち時間が長い」「食事に工夫が欲しい」などのご意見を頂きました。

【まとめ】

入院、外来ともに昨年に引き続いて多くの患者さんから高い評価をいただきました。また同時に、より良い病院づくりのための貴重なご意見も数多く頂戴しました。調査にご協力いただいた患者さん、ご家族の皆さんにあらためてお礼申し上げます。

皆さま方からいただいた評価、お叱り、励ましを全職員で共有し、今後とも「患者さんに信頼されるぬくもりのある医療の提供」に向け、より一層努力を重ねてまいりたいと思います。また日常でもお気づきの点がございましたら、院内に設置しておりますご意見箱までお寄せください。



肺がんのよくある疑問

呼吸器内科 小泉 健

2013年4月12日、市民のみなさまへの公開講座にて、「肺がん」のお話をさせていただきました。普段診療をしていて、患者さんから聞かれることの多い疑問について、お答えするという形でのお話でした。実際に聞いていただけた方には、どのような感想を持っていただけたのでしょうか？「すごくためになった」「わかりやすかった」と言っていた方も、まだまださまざまな疑問が残ったことと思います。「疑問ばかりが残った」という方ももちろん多くいらっしゃったかと思えます。これが、肺がんの特徴です。

肺がんは、種類がさまざまあります。大きく分けると4種類（小細胞癌・腺癌・扁平上皮癌・大細胞癌）があり、このほかにも様々な種類に分けられます。その中でも進行の早いがん・遅いがんがあります。また、肺がんはさまざまな場所に転移をします。転移とは、がん細胞が肺以外の組織に広がることで、血液の流れ、リンパの流れにそって全身に広がる場合があります。脳・骨・肝臓・副腎など全身のありとあらゆる臓器に転移することがあります。

これらの理由のため、「肺がん」と診断された方でも、症状は様々で、皆さんの悩みも様々になり、疑問も様々、多岐にわたることになります。

また、現在、さまざまな検査法・治療法が開発されています。多くの方が治療を受けている一般的になっているもの、まだまだ研究段階のもの、さまざまな治療があります。そして、さまざまな情報が流れています。テレビ・新聞などで特集が組まれ、インターネットにもたくさんの情報があります。

「肺がん」の情報のうち、どれが皆さんに当てはまるのか、非常に難しい状況になっています。同じ肺がんでも、患者さんによって、まったく状態は異なると思っています。

皆さんの状態がどのようなであるか、皆さんの状態に適した対応はどんな方法なのか、これが一人ひとり異なります。まずは、主治医の先生・かかりつけの先生に相談してみること、そして、わからないことはよく聞くこと、よく話し合うことが大切です。少しでも「肺がん」に対する医療スタッフの考え方をご理解いただき、皆さんの考えをスタッフに伝えることが、よりよい治療・療養の第一歩になると思います。



登録医の紹介

医院名：青山内科・眼科クリニック 院長：小澤 武文 医師：小澤 由美

診療科目：一般内科・循環器内科・眼科

住 所：新潟市西区青山4-1-28

電話番号：025-233-0099

診療時間：月～火・木・金 9：00～12：00 15：00～18：00
(金曜午後：眼科休診)

水・土 9：00～12：00

休診日：水・土曜午後、日曜・祝日

(金曜午後は、眼科の診療はありません)

自院特徴と診療方針：

新潟市で唯一、内科と眼科を併設したクリニックです。

一般内科はもちろんのこと、循環器内科を得意にしており、循環器診療に関しては当院でほとんどの循環器の検査がカバーできます。

西大通りに面しておりバス停やJR青山駅からも非常に近い立地になっております。自家用車でも通院しやすいよう、31台分の駐車場を確保しています。

ホームページ：<http://aoyama-naikaganka.com>



野菜ジュースは野菜の代わりになりますか？

栄養管理科 吉田 禪

野菜を食べないとき野菜不足を解消するために野菜ジュースを飲んでいる人も多いと思います。食品成分表の野菜ジュースの項目をみるとビタミンやミネラルを含み、β-カロテンやポリフェノールなどの成分が含まれているものもあり、野菜ジュースでもこのような栄養素の摂取が期待できます。しかし、野菜ジュースに含まれる食物繊維は製造過程で、かすとして捨てられてしまうためジュースに残る分は明らかに少なくなってしまい、野菜を摂取したときと同等の効果が得られるわけではありません。ビタミンCについてもジュースに粉碎されるとき、酵素により壊れやすいということもあり、野菜ジュースは野菜の代わりとしては十分であるとはいえません。

しかし、野菜ジュースは野菜料理が手に入らない状況のときに手軽に摂ることが出来る点で優れているので、外出などが多くなってしまったり、ゆっくり食事をする時間がない人の場合には、野菜の代用としてもよいでしょう。この場合の注意点として、果物がミックスされたものは避け、食塩不使用または無添加のものが勧められます。果物が入ると飲みやすいですが、糖分が多くエネルギーの摂り過ぎになりやすいため、多量摂取にな

らないよう注意が必要です。

国民健康栄養調査の結果、野菜を1日350g以上摂っている人は、食事全体がバランス良く、ビタミン、ミネラル、食物繊維などの不足しやすい栄養素が充実された食事をしていたという結果が示されています。食物繊維の多い野菜を、しっかり噛んで食べることにより、ホルモンが分泌され、過剰な食欲を抑制したり、代謝が活発になり、消費エネルギーが高まるなどの効果、よく噛みゆっくり食べることによって満腹感が高まり食べ過ぎを防いだり、食後の血糖値の上昇を緩やかにする効果等が期待できます。また、野菜に含まれる食物繊維は排便の促進や、血清コレステロール低下作用などが認められています。下ごしらえのいらぬ簡単な野菜料理、カット野菜や冷凍の素材の野菜の活用、市販の惣菜などを用いて野菜の摂取量を増やし、野菜ジュースは健康補助食品として上手に利用するよう心がけるとよいでしょう。



登録医の紹介

医院名：すずき醫院 院長：鈴木 康史
診療科目：内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科
住所：新潟市南区戸頭1370-1
電話番号：025-373-0200
診療時間：月～水・金 9：00～12：30 15：00～18：00
木・土 9：00～12：30
休診日：木・土曜午後、日曜・祝日・第3木曜
自院特徴と診療方針：

内科全般にわたる「バランスのとれた総合医療」を目指し、何事に対しても“正直”であることを大切にしています。

内視鏡設備等完備にて、消化器を中心に呼吸器・循環器をはじめ、高脂血症、高血圧、血糖異常などの内科的治療を行います。

市民病院のホームページもご覧ください
<http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

新潟市民病院 広報広聴委員会

新潟市中央区鐘木463-7

電話 025 (281) 5151

Fax 025 (281) 5187

編集後記

新緑の美しい季節になりました。
心に栄養…あげてみませんか？
近くの散歩道や公園を歩くだけで
リフレッシュできますよ!!

